

JMRC 地区通信

JMRC各地区から名物イベント情報や規則改正、告知などのお知らせを発信する地域の伝言板ページです

JMRC 東北

オールスタージムカーナ エビス西コースで開催のめど

前号の本項で案内しましたサーキットトトライアルのうち、第2戦の日程に誤りがありました。7月13日ではなく、正しくは7月21日(月・祝)です。

また、9月15日に仙台ハイランドレーシングコースの閉鎖が突如決まり、JAFカップ&JMRCオールスタージムカーナも会場変更を余儀なくされました。東北で全国大会ができる会場は限られているなか、積極的にお話を進めていただいたエビスサーキット(福島県二本松市)と話し合いを進めました。

その結果、全日本大会に相応しい会場として西コースでの開催を主軸に検討を進めました。エビスサーキットにはスピード行事のJAF公認コースが数多くありますが、新たに西コースのコース公認申請を行っていただくことで了承いただきました。また、JMRC東北に加入し、共に活動していただけることになりました。正式にはJAFの変更の承認及びコース公認の許可等が終わり次第となりますが、現在の進行状況としてご報告いたします。

JMRC 関東

ラリー共済改め ラリー見舞金制度について

JMRC関東ラリー部会では、東京・栃木・千葉1都3県のクラブが開催するイーストラリーツアー、長野県ラリーシリーズ、群馬ラリーシリーズとそれぞれに特徴を持つ3つのシリーズ戦を行っています。イーストラリーツアーは3県にまたがる多彩なコースで構成されています。長野県ラリーシリーズでは「K」クラス(1000cc以下の車両)、群馬ラリーシリーズではチャレンジクラス(シリアルタイヤ使用)の設定もありますので、色々な楽しみ方ができると思っています。

昨日、ラリー競技に参加する際の任意保険への加入が難しくなっておりますが、その対策として前号でもご案内したとおり、JMRC関東ラリー部会ではJMRC関東に「協力・理解をいただき」「JMRC関東ラリー見舞金制度」を昨年より運用しております。

JMRC関東ラリー部会ならびに各主催者共々、みなさまのラリー参加をお待ちしております。下記、ホームページもぜひご参考にしてください。

<http://www.kanto-rally.jmrc.jp/>

<http://jmrctohoku.com>

JMRC 中部

中部のラリーは恒例の 超初心者セミナーで開幕

中部地区のラリーは、恒例となった初心者を対象としたラリーセミナーを含んだJMRC中部ラリーチャレンジシリーズ第1戦新城ジュニアラリーで開幕しました。今年は、4月19日にセミナー、20日に公認ラリーの日程で、かつて全日本ラリーでも使われたコース内のポイスクアウト野営場にて、多くの参加者が泊り込みでラリー漬けの2日間を過ごしました。今年は「ラリーは好きだけど費用もかかるし、ラリー装備も持っていないので足の踏んできた」という潜在的ラリーリストに、ラリーの楽しみ方を体験していただきハードルを下げることに力を入れました。このため、セミナーでは、規則の理解や参加するまでの準備などにも重点を置き、5時間に渡って座学や実車を使った模擬体験を行ったので、本番前に理解が進んだようです。さらにジュニアラリーは、今年からクロノスド格式の第1種アベレージラリーを併催し、Bライセンスを持っていないクルーやラリー装備のない車両でも参加が可能に。参加費もセミナー、ラリー保険にあたる互助会込みで1万5000円という超破格の設定により8組16名がクロノスドクラスにエントリーしました。ラリーコンがなくても楽しめる設定で、SSラリーのSSコースをハイアベレージで走行する構成としたので、ドライバースもSSを走行するイメージを体験することができただけでなく、ラリー好きの仲間作りに大いに役に立ったのではないのでしょうか。

ちなみに、SSラリーのチャレンジクラスは11台、オープンクラスには4台の参加がありました。



FACEBOOK: JMRC中部ラリー部会で検索

JMRCとは?

JMRCは「JAF Motorsports Clubs Regional Conference」の略語で、ラリー、ダートトライアル、ジムカーナ、レースなどのモータースポーツを楽しむ参加者、主催者を応援するとともに、業界の発展を目指して活動を行っている組織です。北海道、東北、関東、中部、近畿、中国、四国、九州の8地区に分かれています。

JMRC 近畿

鈴鹿クラブマンレースで フィット1.5チャレンジ始動

日差しが強い快晴の鈴鹿で、鈴鹿クラブマンレース第3戦は開催されました。開幕から2戦は鈴鹿の西コースで行われてきましたが、舞台を今季初の東コースに変えて、各クラスのハイスピードバトルが展開されました。

そのなかにおいて注目を集めたのは、

いよいよ始動した「フィット1.5チャレンジ」です。各チームとも時間のない中で、テストも不十分な状態らしく、セッティングに戸惑っている様子でした。それでも同日に走行している

シビックから2〜3秒落ちでの走行を披露し、コーナーでの速さをアピールしていました。

新たなホンダワンメイクとして期待していききたい！というモータースポーツを愛する関係者、主催者の熱意を発信した、記念すべき1日となりました。



JMRC 中国

中国ジムカーナ選手権開催 今季はビギナークラスも

中国地区ジムカーナ選手権は他地区より開幕が遅れましたが、4月20日第1戦、5月11日に第2戦をいずれもT Sタカタサーキットで開催し、近畿・四国・九州の各地区からの遠征組を地元中国勢が迎え撃つ形となり、各クラスともに盛り上がりを見せました。B R1は第1戦が近畿の奥選手、第2戦は石本選手、S C Dは第1戦が三宅選手、第2戦は四国の西森選手が優勝を分け合いました。P N1は高屋選手、P N2は中島選手、P N4は松村選手、

B R2は尾崎選手、A N1は小林選手、A N2は坂本選手、A N3は河村選手がそれぞれ2連勝を飾りました。第3戦以降、他選手の巻き返しに期待したいと思います。

今年中国地区のジムカーナはモータースポーツのビギナー・フレッシュマンの方に門戸を拡げるためのF1・F2クラスを設定しています。ジムカーナを始めたい方にピッタリで、気軽に参加できます。詳しくは、下記JMRC中国のホームページまで。

今年中国地区のジムカーナはモータースポーツのビギナー・フレッシュマンの方に門戸を拡げるためのF1・F2クラスを設定しています。ジムカーナを始めたい方にピッタリで、気軽に参加できます。詳しくは、下記JMRC中国のホームページまで。

<http://jmrc-chugoku.org/>

<http://www.jmrc-kinki.net>

JMRC 九州

九州ジムカーナは 全戦「恋の浦」が舞台です

2014年JMRC九州ジムカーナのJr.戦およびJAF選手権の開催場所は全戦がスピードパーク恋の浦となっています。日々を追うことにコースや施設も良くなって来ています。そして今年も、9月13〜14日に全日本戦も開催されます。コースとしては独特なレイアウトで、コースとパイロン間がハッキリ分かれており、設定も自由度があります。また自然に囲まれたレイアウトなので、ギャラリからも高い評価をいただいているコースです。

「恋の浦」は、多くのJr.の選手がJAF選手権に移行。この影響か、逆にJr.の台数が3割ほど減少しているのが現状です。このため、初心者の選手の発掘に力を注いでいるところです。

その第一の手段として、毎月スピードパーク恋の浦主催の「恋の浦CUP」ジムカーナ走行会を開催しています。当日参加OK、誰でも楽しく参加でき、国内Bライセンス取得申請もできます。平均台数も30台と少しずつ盛り上がりを見せてきているので、今後の発展に期待を寄せています。

また不定期ですが「誰でもジムカーナ」と称しての走行会も行っています。特に初心者を対象としており、参加資格は「誰でもOK!」。ジムカーナコースの走行に加えドリフト広場でパイロンタンなどの練習もでき、ターニングがうまくならない人には、主催のプロシヨップスブラインの佐藤さんがレクチャーを行っています。走行会情報はスピードパーク恋の浦サイトまたはFacebook「スピードパーク恋の浦」ページにて発信中です。



<http://www.jmrc-kyushu.gr.jp>